

学校番号	1	学校名	沼津視覚特別支援学校	校長名	田淵 尚子
------	---	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

A・・・十分達成 B・・・概ね達成 C・・・あまり達成できなかった D・・・達成できなかった

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	<b>視覚障害に留意した「主体的に学び、思考を深め表現する授業づくり」</b>	・研修で得た学びを指導に生かし、授業改善や授業力向上に繋がった教員 100%	<職員> AB 100% <保護者> ・主体的に学んだり伝えたりする教育活動が行われている。 AB 96%  校内グループ研修や一人一授業公開、他校の研究会、オンライン研修などを実施。	A	授業づくりについて学び合うことができ、学んだことを授業改善や授業力向上に活かすことができた。 他校の授業や実践などを知る機会を引き続き設定したい。
	視覚障害教育に必要な専門性の向上と指導の充実 (ICT 活用や情報保障を含む)	・自身の専門性の維持・向上ができた教職員 90%以上 ・自立活動研修、視能訓練士との連携で得た知識や技能を授業、学校公開、日常生活等で活かすことができた教員 80%以上	<職員> AB 94% <保護者> ・視覚障害に配慮した教育活動が行われている。 AB 96%  自立活動研修を 5 回実施、自立活動通信による情報提供を 3 回実施。	A	自立活動研修や通信により効果はあった。 評価では視能訓練士や歩行訓練士の助言をより広く共有したいという意見があがった。次年度取り組みたい。
イ	<b>将来をイメージし、幼児児童生徒の自己選択を意識した指導</b>	・キャリア教育について学んだことをもとに将来をイメージし幼児児童生徒の自己選択を意識した指導や保護者面談等で活かすことができた教員 80%以上	<職員> AB 100% <保護者> ・年齢や発達段階に応じた自己選択を意識した教育活動が行われていた。 AB 91% ・保護者面談や学部懇談会、PTA 学習会などを通して、幼児児童生徒の将来について考える機会が持てた AB 87% C 13%  卒業生の進路状況、事業所見学、進路講演会などの職員進路学習会実施。 各学部で自己選択場面を設定した授業実践、職業学習、学校見学、職場見学、先輩の話を聞く機会などを計画的に実施。	B	買い物学習、おすすめ献立づくり、進路学習、集会企画の話し合いの取組などで幼児児童生徒が自己選択する場を設定するなど、教員の意識が高まった。 保護者からは、進路についての情報がもっと欲しいとの声もある。引き続き、保護者向けの説明や学習会を行いたい。

	<p>自他を尊重し合う心と体の教育</p>	<p>・自分や仲間・友達の好きなところや良いところを教師へ1つ以上伝えることができる幼児児童生徒80%以上。 ・体力が維持向上した幼児児童生徒75%以上 ・人権感覚を意識した指導ができたと感じる教職員80%以上</p>	<p>&lt;職員&gt; AB 100% &lt;保護者&gt; ・自他を尊重し合う教育活動が行われている。 AB 100%</p> <p>自分や仲間・友達の好きなところや良いところを伝えられた幼児児童生徒は95%。性の指導、人権教育は年間計画の活用を呼びかけ、各学部1回以上授業実施。、学部ごとに運動週間企画を実施。体力テスト結果昨年比較が可能で向上した種目がある児童生徒は100%</p>	<p>A</p>	<p>集団活動を意識的にを行い、身体を動かしたり幼児児童生徒同士の交流をしたりして楽しめる機会が持てた。 次年度も、性の指導、人権教育などの年間計画をもとに発達段階に応じた実践に取り組みたい。</p>
	<p>超早期から成人までの切れ目のない教育相談の充実</p>	<p>・医療機関・保健センター等の協力が得られた場合に調査し、理解推進・教育相談を受けて、「よかった」という回答が70%以上 ・アンケートで、「よかった」以上をつけた相談者80%以上</p>	<p>医療機関や保健センターに6回訪問し理解推進のための説明を行った。全訪問先で、取組について「よい」との回答だった。</p>	<p>A</p>	<p>訪問した医療機関や保健センターから、相談や見学の希望の情報がくる等の成果があった。 今後も訪問での理解推進の取組を継続したい。</p>
<p>ウ</p>	<p>本校と視覚障害について東部地区における発信と理解推進</p>	<p>・アンケートにより学校への理解が深まった割合が80%以上。 ・新システムを使用し、学校ホームページで情報を分かりやすく発信することができる。</p>	<p>&lt;保護者&gt; ・本校と視覚障害について、発信と理解推進がなされている。 AB74% C13% D8%</p> <p>市町福祉課等関係機関30ヶ所以上を訪問し、理解推進活動を実施。医療機関・教育機関・放課後等デイサービス職員を対象に見学会を実施。参加者の理解が深まった割合は100%。学校ホームページは新システムに移行。</p>	<p>B</p>	<p>見学会を開催したことにより、関係機関の理解が深まった。放課後等デイサービスへの児童生徒の引き渡し時の学校からの連絡が円滑となった。また学校ホームページは新システムの移行にともない、表示の色やレイアウト等をわかりやすくした。 今後も学校見学等の理解推進の取組を継続していくとともに、保護者への発信もより意識したい。</p>
	<p>地域の方や外部講師等による社会とつながり合う授業や教育活</p>	<p>(小学部) 活動を通して児童が学校外の方と関わりが持てたと感じる教員80%以上。 (中学部) 活動を通して、生徒が地域の方や学校外の専門家から</p>	<p>&lt;職員&gt; AB 100% &lt;保護者&gt; ・外部講師等による授業や地域の方との交流など、社会とつながり合う教育活動が行われている。 AB 96%</p>	<p>A</p>	<p>地域の方や外部の方と一緒に活動することで、人と関わりながら学んだり、活動したりする経験を増やすことができた。 今後も校外の方と関</p>

様式第3号

	<p>動の実践</p> <p>充実した学びを得られたと感じる教員80%以上 (高等部) 地域やイベント等でのマッサージ奉仕年4回以上。</p>	<p>花壇づくり、樹木名札取付活動、マッサージ奉仕活動4回、環境教育等で地域の方や外部講師との教育活動の実施。</p>		<p>わる活動を継続して実施したい。</p>	
エ	<p>一人一人が緊急時や発災時にどのように動くかわかり、実践的な緊急体制の整備</p>	<p>・緊急時や発災時に、自らの判断で自信を持って、組織的な緊急時対応や避難行動ができる教職員80%以上。</p>	<p>&lt;職員&gt; AB 100% &lt;保護者&gt; ・緊急時・発災時の実践的な訓練が実施されている。 AB 100%</p> <p>不審者対応訓練、地震・火災避難訓練、未告知訓練やスモーク体験、各種防災研修を実施。</p>	A	<p>各種訓練により、トランシーバーの使い方や安全確認、避難誘導などを実践的に学んだ。 次年度もより実践的な訓練の実施を重ねたい。</p>
	<p>児童生徒が安全安心に活動でき、魅力的な環境の整備</p>	<p>・学校環境の不備を原因とした事故発生0回 ・校内で自分の好きな場所があり、伝えることができる幼児児童生徒80%以上。</p>	<p>&lt;職員&gt; AB 100% &lt;保護者&gt; ・学校は幼児児童生徒にとって居心地の良い場所になっている。 AB 96%</p> <p>月1回の安全点検、ヒヤリハット点検実施。点検後は対象箇所迅速な対応実施。学校の好きな場所があると伝えられた児童生徒90%。</p>	A	<p>各種点検と対応の徹底により、安全意識が高まった。環境不備が原因の事故は0。 引き続き、各種点検と対応の徹底と情報共有を継続し、安全意識を高め続けたい。</p>
オ	<p>専門性向上と授業準備ができ、魅力的な環境の整備</p>	<p>・限られた時間内で効率良く会議・打ち合わせできたと思えた教職員80%以上。</p>	<p>&lt;職員&gt; AB 97%</p> <p>定時退勤日の設定、会議等の時間厳守、提案・検討事項の明確化、掲示板の利用、資料事前配布等により効率化。</p>	A	<p>短時間での打合せ等が可能になったり、計画的に仕事を進めようとしたりする意識が高まった。 引き続き、限られた時間を有効に使えるよう取り組みたい。</p>
	<p>個々の強みを活かした風通しのよい職場づくり</p>	<p>・職員同士で相談、協力し合えたと思えた教職員80%以上。</p>	<p>&lt;職員&gt; AB 100%</p> <p>不祥事根絶研修として、事務職員も含めたグループ研修を2回実施。</p>	A	<p>グループ研修をきっかけに職員間で話がしやすくなったり、他にも話し合いたい内容が提案されたり職場環境の向上につながった。 教職員の交流のために、引き続きグループワークを意識的に実施したい。</p>